

日本学術会議 化学委員会 IUPAC 分科会 (第 26 期・第 3 回) 議事要旨

日時：令和 7 年 12 月 25 日 (木) 16:20～17:30

会場：オンライン (Zoom 開催) + 日本学術会議 5 A- (1) 会議室

出席者 11 名：(現地参加) 岸村顕広, 北川尚美, 栗原和枝, 黒田玲子, 所裕子, 長谷川美貴, 山下誠 (オンライン参加) 酒井健, 澤村正也, 竹内孝江, 所千晴

欠席者 0 名

オブザーバー：Christine K. Luscombe, 石井あゆみ, 有澤美枝子, 数間恵弥子, 中村潤児, 山田一作, 山根常幸, 横山哲也

議事要旨：

以下に示す議論が行われた。

1) 前回議事要旨の確認

前回 (第 26 期・第 2 回分科会) の議事録が確認された。

2) IUPAC General Assembly (GA) の報告

2026 年 7 月に実施された IUPAC 総会 (GA) について報告があった。特に、日本からの IUPAC 役員・委員の選出状況について説明がなされた。また、IUPAC 事務局の次期候補地募集に対して日本から提案を提出したこと、ならびに次期事務局が欧州に設置されることが決定した旨の報告があった。

3) 日本化学会との連携について

IUPAC 総会の報告および今後の活動に向けた意見交換を目的として、2025 年 10 月に日本化学会との意見交換会を実施した旨の報告があった。日本化学会と IUPAC 分科会が今後より一層連携し、国内における IUPAC 関連活動を推進していく方向性が確認された。

4) 今後の活動方針について

2026 年からの Luscombe 教授 (沖縄科技大) の副会長就任 (2028 年から会長就任) にあたり、その活動を支援するためにも、日本として IUPAC 関連活動を一層積極的に推進する必要性が確認され、これに関する意見交換が行われた。また、International Young Chemist Network (IYCN) についての説明がなされ、日本から若手研究者 2 名が IYCN メンバーとして推薦・選出された旨の報告があった。

5) その他

無機化学分科会主導の公開シンポジウムおよび今期に発出予定の「見解」について紹介があり、当該公開シンポジウムの主催団体として IUPAC 分科会も参画することが承認された。